

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ガッチャんのいえ			
○保護者評価実施期間	2025年12月24日 ～ 2025年12月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者それぞれに合わせた、支援計画を作成し適材適所の療育を進めている	面談と合わせ家庭を訪問にするなどによる保護者のニーズを把握することに努め、利用者に合わせた内容の支援内容の策定と療育を行う	保護者の要望を把握し支援を実施するとともに、学校や地域との共存を進めることができることも支援内容に含めることを考案した支援計画を策定する
2	利用定員やこどもの状態等に対して、十分な職員の配置を行っている	保育士・児童指導員と合わせ理学療法士を配置し幅広い支援内容となるよう計画・立案・支援実施を行っている	日常生活に直結するような課題の策定・生活器具の使い方など自立に向けた支援を充実させる。支援内容に対し楽しんで取り組みを行えること、達成感や成功した喜びが感じられるような支援を進める
3	課外活動の場を多く取り入れ、身体的・情緒的にも配慮した療育を行っている	放課後の支援は室内活動が多くなりがちであるが公園活動などを含める また学校休業日には課外活動を計画し身体・情緒に考慮した支援を実施している	課外活動の内容がマンネリ化しやすい傾向にあるが、新しい体験ができるよう情報集を行い課外活動の幅を広げて行くようにする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部連携について地域の住民や子供たちとの交流を図る機会が少ない	児童クラブや老人福祉施設等とのコミュニケーションをとるよう努力しているが、コロナ対策等もあり受け入れてもらえるところがないのが現状である	複数の施設に対するアクセスの機会を増やし、コミュニケーションの機会が増えるようにしていく
2	非常時の対応に関する評価が低い	事業所で実施している非常時の対応や家庭で実施できる対応など公表しているが保護者に浸透していない	通年で情報展開を行っているが、合わせて時期・内容を精査した情報展開を検討していく 合わせて面談や家庭訪問等を行った際のフォローアップを実施していく
3	保護者の要望で学習支援が多く事業所独自の支援を行う時間が限られてしまうことがある	時間配分を行い支援を行っているが学習に時間を多くとられている 合わせて利用者の意向が得意分野に寄ってしまう傾向があり不得意分野への参画ができづらい	支援時間については時間配分を見直すと共に時計・アラームの使用など時間区分を明確にするようにする 事業所の趣旨として得意分野だけでなく不得意分野を克服する場であることを周知し利用者への促しを進める